



あなたはこの公園に
どんな夢を描きますか？



西公園の再整備に関する 市民アンケート調査結果



仙 台 市

調査の目的

西公園は、明治8年に開園した仙台市の中でも最も古い公園であり、市民プールや天文台、野球場などの施設利用に加えて、春のお花見や夏の花火大会、植木市の会場としても活用されるなど、市民には様々なかたちで利用され親しまれてきました。

しかしながら、各施設の老朽化がみられる中で、図書館や天文台の移転に加え、地下鉄東西線の「(仮称)西公園駅」などの施設の建設が予定されており、これを契機に、より市民に親しまれる公園として、また「緑の回廊づくり」の拠点として再整備の検討に着手することといたしました。

この度は、その前段として、市が再整備の基本的な素案をまとめ、それに対して昨年10月から今年1月にかけて市民の皆さまにアンケート調査を実施し、いただいたたくさんのご意見やご要望をここにとりまとめたものです。

今後は、市民の代表や学識経験者からなる「(仮称)西公園再整備検討委員会」を設置し、皆さまからいただいた市民意見等を踏まえながら基本構想を策定し、平成17年度以降、具体的な計画・設計を行い、東西線の整備スケジュールとの整合を図りながら工事に着手したいと考えております。

アンケート調査の設問内容 (アンケート調査票は6ページをご覧ください。)

項 目		調 査 の 内 容 、 目 的
Q1	西公園のイメージや利用状況について	▶ 現在の西公園に対するイメージや利用状況をおたずねしました。
Q2	再整備の基本方針(素案)について	▶ 平成14年度に策定した再整備の基本方針(素案)に対する意見等をおたずねしました。
Q3	再整備にあたって留意すべきことについて	▶ 西公園の再整備を行う上で、特に気を付けて欲しいと思うことをおたずねしました。

アンケート調査票の配布・回収結果

調査期間 平成15年10月1日～平成16年1月30日までの4ヶ月間

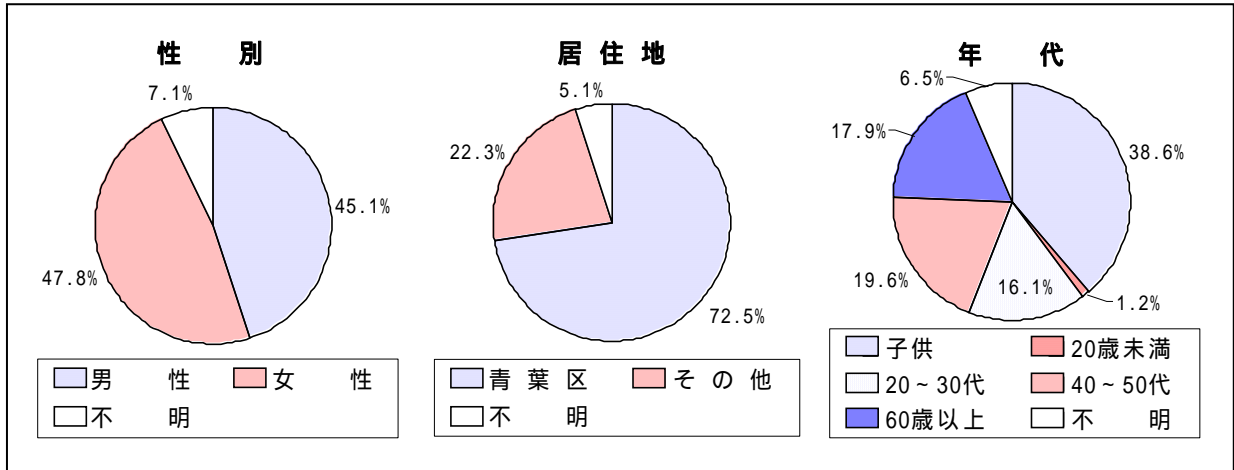
配布先等 市役所市民のへや、各区総合支所受付など市内の主な公共施設に配置しました。
 近隣の町内会、小学校及び西公園で催された各種イベント参加者に依頼しました。
 仙台市のホームページ上で公開し、調査を実施しました。

回収票数 市外の方を含み、計663通の回答が寄せられました。

・大人	407票 (61.4%)
・子供(小学生)	256票 (38.6%)
・合計	663票 (100.0%)

回答者の属性

回答者計 663 名の性別、居住地及び年代の内訳は次のとおりです。



アンケート結果

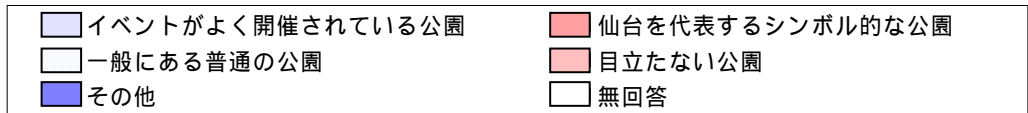
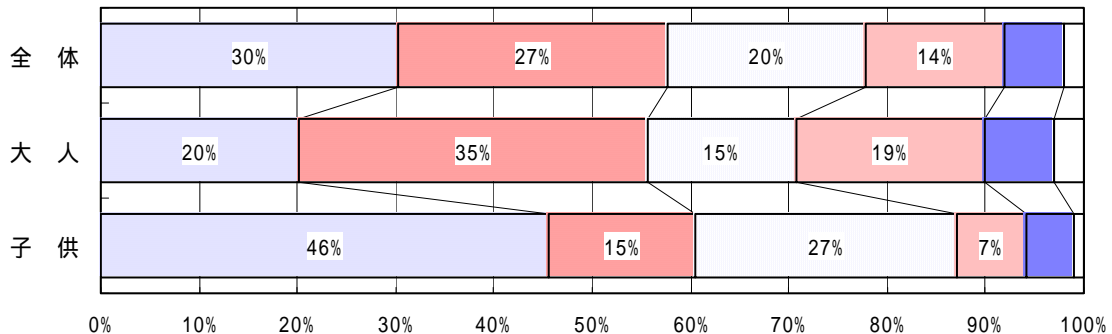
集計は、全体、大人、子供（小学生）に分けて行いました。

Q1-1 現在の西公園にどのようなイメージをもっていますか？

・全体で最も多かった意見は「イベントがよく開催されている公園」(30%)で、これに「仙台を代表するシンボリックな公園」(27%)、「一般にある普通の公園」(20%)が続いています。

・西公園のイメージは、大人と子供で大きな違いがみられます。

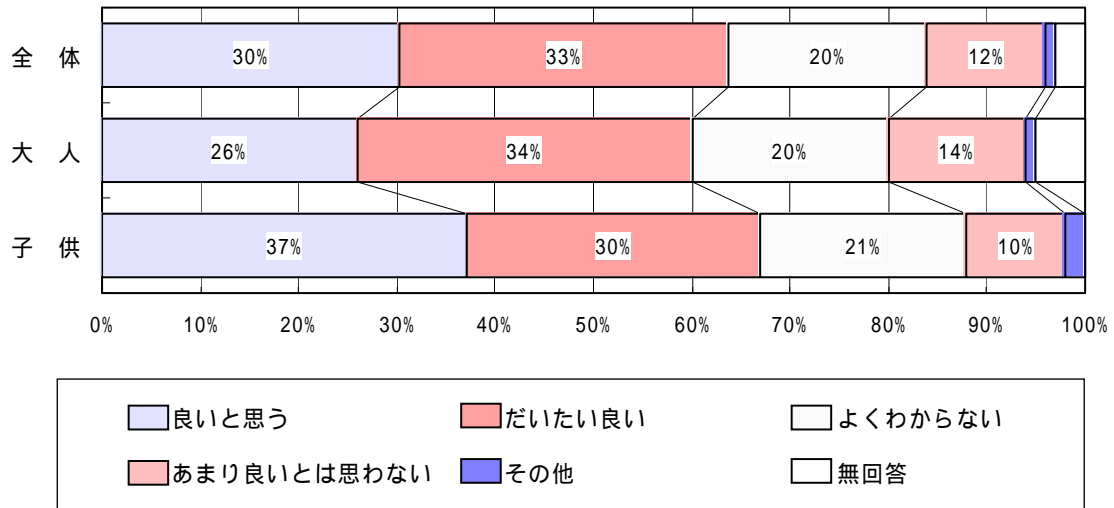
- ・全体：「イベントがよく開催されている公園」 (30%)
- ・大人：「仙台を代表するシンボリックな公園」 (35%)
- ・子供：「イベントがよく開催されている公園」 (46%)



Q2 - 1 構想づくりに向けた基本的な考え方と各ゾーンの概要について？

- ・全体で、「良いと思う」と「だいたい良い」の合計が63%、一方、「あまり良いとは思わない」が12%となっています。
- ・「良い、だいたい良い」は、大人の60%、子供の67%を占めています。

- ・全体：「良い、だいたい良い」(66%) / 「あまり良いとは思わない」(12%)
- ・大人：「 " " 」(60%) / 「 " " 」(14%)
- ・子供：「 " " 」(67%) / 「 " " 」(10%)



Q2 - 2 構想づくりに向けた基本的な考え方と各ゾーンの概要に関する自由意見

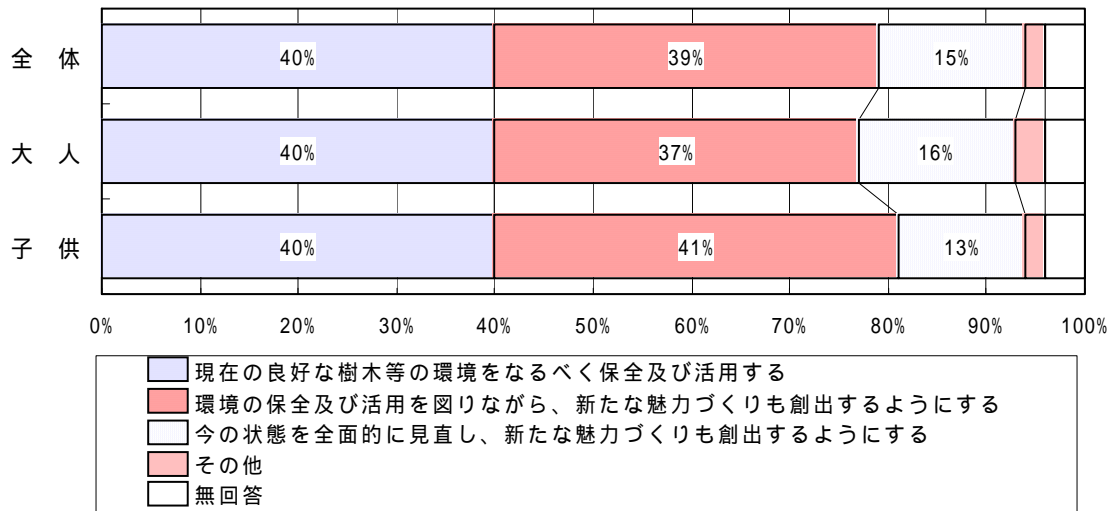
- ・全体では、主に次のような意見が寄せられました。
 - ・西公園内に欲しい施設について（市民の憩いの場、安らぎの場、野外音楽堂、プール など）
 - ・西公園内の自然について（樹木を残す、増やす、豊かな自然環境や生態系を守って欲しい など）
 - ・どんな公園にしていきたいか（杜の都を象徴する公園、家族連れで行きたくなる公園 など）
 - ・ゾーン区分案について（ゾーン設定による再整備方向は分かりやすい など）
 - ・西公園内の親水空間について（噴水等の水辺が欲しい、広瀬川と一体的な公園にして欲しい など）
 - ・イベントについて（今後もイベントをたくさんやってほしい など）
 - ・構想づくりについて（市民の意見をとり入れて欲しい、高齢者や障害者等を考慮して欲しい など）

Q3 - 1 西公園の再整備をする上で気をつけて欲しいこと？

・全体で、「現在の良好な環境を保全及び活用する」と「環境の保全及び活用を図りながら新たな魅力づくりも創出する」がそれぞれ約40%、一方、「今の状態を全面的に見直し新たな魅力づくりを創出する」が15%となっています。

・「全面的な見直し」は、大人の16%、子供の13%で、「保全・活用」を下回っています。

- ・全体：「保全・活用」(40%) / 「保全・活用と新たな魅力づくり」(39%)
- ・大人：「保全・活用」(40%) / 「全面的な見直し」(16%)
- ・子供：「保全・活用」(40%) / 「環境の保全及び活用を図りながら、新たな魅力づくりも創出する」(41%)



Q3 - 2 西公園の再整備に伴い新たにできればよいと思う施設等に関する自由意見

・全体では、主に次のような意見が寄せられました。

- ・子どもたちのための施設（遊具、アスレチック、ふれあい動物園 など）
- ・公園内の環境整備（芝生広場、自然環境を残した公園、手入れの行きとどいた公園 など）
- ・公園内の設備・備品（清潔できれいなトイレ、ベンチ・イス、照明設備、ゴミ箱、花壇 など）
- ・水辺空間・施設（旧市民図書館前の池の活性化、噴水、広瀬川の活用、ビオトープ など）
- ・スポーツ施設（サイクリングロード、野球場、プール、テニスコート、サッカー場 など）
- ・文化・芸術施設（野外ステージ、能楽堂、プラネタリウム など）
- ・飲食・休憩施設（売店、憩える空間、カフェテラス、休憩所 など）

《 参考：アンケート調査票 》

アンケート記述欄

Q1 現在の西公園についておたずねします。あなたは西公園にどのようなイメージをもっていますか？（最も適当なものにそれぞれ○を1つ付けてください）

〔Q1-1 西公園のイメージについて〕

〔Q1-2 西公園の利用について〕

- 1 一般にある普通の公園
- 2 仙台を代表するシンボリックな公園
- 3 目立たない公園
- 4 イベントがよく開催されている公園
- 5 その他()

- 1 よく行く公園（理由： ）
- 2 たまに行く公園（理由： ）
- 3 ほとんど行かない公園（理由： ）
- 4 その他()

Q2 パンフレットにご提示した「構想づくりに向けた基本的な考え方」と「各ゾーンの概要」についておたずねします。（最も適当なものに○を1つ付けてください）

〔Q2-1 基本的な考え方・ゾーンの概要について〕

〔Q2-2 内容に関するご意見・ご要望等〕

- 1 良いと思う
- 2 だいたい良い
- 3 よくわからない
- 4 あまり良いとは思わない
- 5 その他()

（自由記入欄）

Q3 西公園の再整備方針についておたずねします。（最も適当なものに○を1つ付けてください）

〔Q3-1 再整備をする上で気をつけてほしいこと〕

Q3-2 再整備に伴い新たにできればよいと思う施設等

- 1 現在の良好な樹木等の環境をなるべく保全及び活用する
- 2 今の状態を全面的に見直し、新たな魅力づくりを創出するようにする
- 3 環境の保全及び活用を図りながら、新たな魅力づくりも創出するようにする
- 4 その他()

（自由記入欄）

Q4 自由記入欄（これからの西公園づくりに関することを自由にご記入ください）

Q5 ご記入された方におたずねいたします。（当てはまる数字に○をつけてください）

性別	1. 男性	2. 女性	お住い	1. 青葉区	2. 泉区	3. 太白区	4. 宮城野区	5. 若林区	6. 市外
年齢	1. 10歳未満	2. 10代	3. 20代	4. 30代	5. 40代	6. 50代	7. 60代	8. 70代	9. 80歳以上

ご協力ありがとうございました

《 構想づくりに向けた基本的な考え方（素案） 》

ゾーニング

うるおう緑の拠点づくり
社と水辺と市民をつなぎ、自然と都市の環境が共生する

やすらぎのゾーン
市民だれもが安心して快適に楽しめる

かがやきのゾーン
文化や芸術活動等の展開を通じて仙台の新たな個性を創造する

にぎわいのゾーン
レクリエーションや観光時、多様な交流が繰り広げられる

うるおう緑の拠点づくり

- “ 杜の都 ” を都市の個性に掲げる仙台市の中で、西公園は広瀬川や青葉山周辺の優れた自然と都市をつなぐ「緑の拠点」といえます。
- 今ある豊かな緑を守り、生かし、育みながら、社と水辺と市民をつなぎ、自然と都市の環境が共生する『うるおう緑の拠点』として地域全体を位置づけます。
- 大規模災害等に備えた都心の防災拠点となります。

やすらぎのゾーン

- ここでは、人々が、優れた自然を享受しながらゆったりとした自分の時間を過ごすための『静的な空間』の確保が求められます。
- バリアフリーへの対応を図りながら、誰もが安心して憩える『やすらぎのゾーン』をつくります。

かがやきのゾーン

- ここでは現在、定禅寺ストリートジャズフェスティバルをはじめ、多くの市民が自己表現のための様々な活動を展開しています。杜の都の新しい文化を創り、育むことで、仙台の魅力と活力を生み出します。
- 周辺施設などとの連携を図りながら、文化や芸術活動のフィールドとしての『かがやきのゾーン』をつくります。

にぎわいのゾーン

- ここは、市民プールや野球場、多目的広場等の動的空間の施設を有し、これまでも市民の多様なレクリエーションニーズに応えてきましたが、今後は、地下鉄東西線の整備により、新しい利活用が期待されます。
- 静的空間との調和を図りつつ、レクリエーションや催し等多様な交流が繰り広げられる『にぎわいのゾーン』をつくります。

～ 今回のアンケートに、たくさんのご意見・ご要望を

いただきまして、ありがとうございました。

みなさまの声を新しい西公園づくりに生かしていきます ～

平成 16 年 5 月



百年の杜づくり

〒980 - 8671

宮城県仙台市青葉区国分町3 - 7 - 1

仙台市建設局 百年の杜推進部公園課

TEL 022 - 214 - 8396

FAX 022 - 214 - 8358

e-mail ken010220@ci ty.sendai.jp